

【平成 17 年度・前期・国際経済学 A・期末レポート】

【問 1】 国際経済制度の発展に関する次の言葉を 7 行程度でその歴史的な経緯を含めて説明しなさい。

- (ア) GATT
- (イ) ウルグアイラウンド
- (ウ) 金本位制度と金為替制度
- (エ) ブリトンウッド制度とその崩壊
- (オ) 固定相場制と変動相場制の違いについて

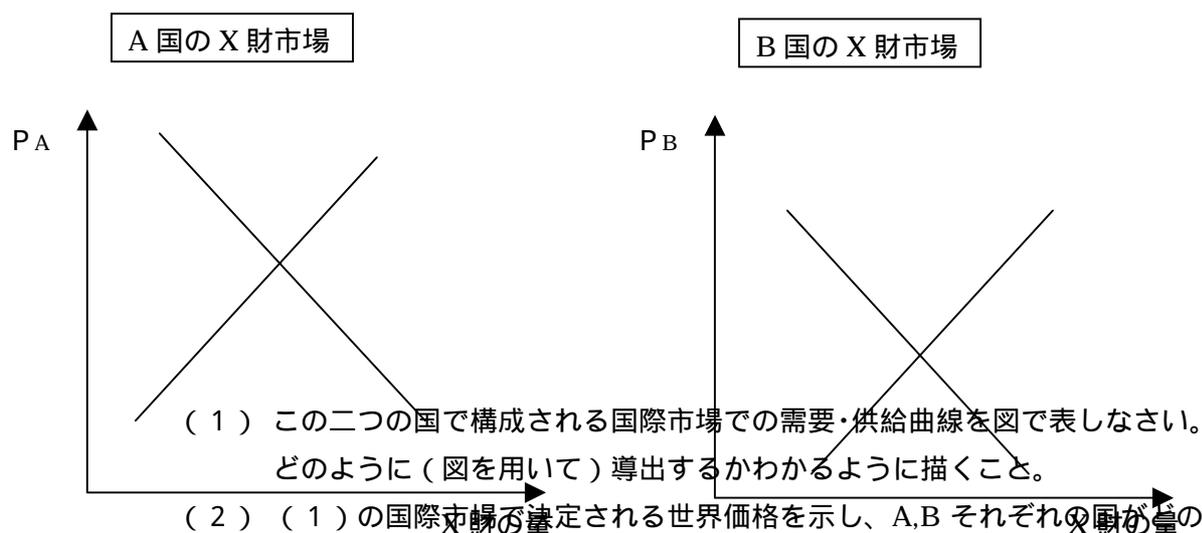
【問 2】 次の表のように A,B2 つの国が 2 つの財(を生産できる場合後の (ア) ~ (オ) の問いに答えなさい。

製品 1 単位当りを生産するのに必要な労働力(時間)

	ワイン	羊毛
A 国	30	600
B 国	25	300

- (ア) ワインと羊毛それぞれの財について、絶対優位のある国はどちらか特定し、その理由を説明しなさい。
- (イ) ワインについてどちらの国に比較優位があるか特定し、またその理由を説明しなさい。
- (ウ) 羊毛について、どちらの国が比較優位があるか特定し、またその理由を説明しなさい。
- (エ) この 2 国が貿易する場合、羊毛とワインの根幹率の範囲を定めなさい。

- 【問 3】 いま、2つの小国 A,B のみが X 財についての世界市場を形成する場合を考え、それぞれの自給自足状態から市場を開放する場合について次のようなグラフが与えられている。このグラフを用いて後の問いに答えなさい。



- (2) (1)の国際市場で決定される世界価格を示し、A,B それぞれの財の量のくらい輸入もしくは輸出するか、図を用いて示しなさい。
- (3) 余剰分析の概念を用いて市場を開放したほうが、それぞれの国にとって有益であることを図を用いて説明しなさい。

- 【問 4】 ヘクシャー=オリーンの貿易理論に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか選びなさい。また、誤った選択肢はどうして誤りかを 5 行程度で説明しなさい。ただし、2 国、2 財、2 要素のモデルを想定し、要素集約度の逆転や完全特化は生じないものとする。

1. 貿易パターンはそれぞれの国における生産要素の賦存状況によって決まり、生産技術の差異には影響をうけない。
2. ある財の価格が上昇した場合、その財の生産において集約的に用いられる生産要素の価格は上昇するが、他の生産要素の価格については一概にいえない。
3. ある生産要素の賦存量が増加した場合、2 財とも生産量が増加する。
4. 生産技術に差異があつて貿易が行われることを通して、各生産要素の価格は自国と外国で均等になる。
5. 生産要素の賦存状況が異なっても、生産技術が同一であれば、財の価格が均等になったとき生産要素の価格も均等になる。

平成 17 年度・前期学期  
国際経済 A  
岡村 與子 ( t037778@t.daito.ac.jp )

大東文化大学・経済学部  
平成 17 年度・前期・国際経済学 A・期末レポート  
平成 17 年 7 月 25 日